

千葉県文書館ミニ企画展

渋沢栄一の書簡

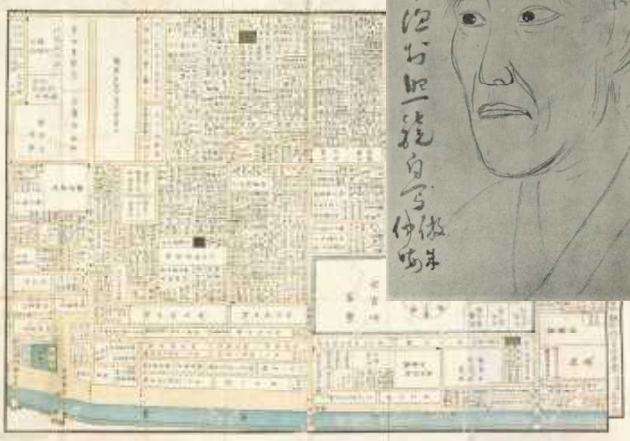
—大蔵卿松方正義宛ての招待状—

会期：令和3年7月1日(木)～9月15日(水) ※休館日：日曜・祝日・7/30(金)・8/31(火)

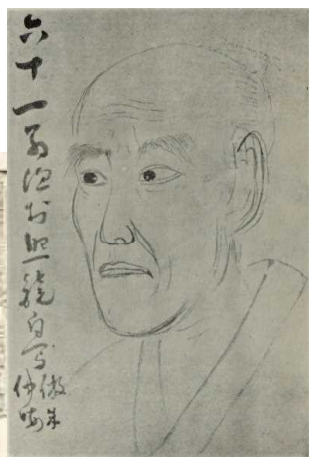
会場：千葉県文書館1階展示室 午前9時～午後5時 **入場無料**

実業家・渋沢栄一は、新一万円札の顔、日本資本主義の父、そして今年の大河ドラマの主人公でもあり、現在、広く一般に興味・関心が高まっている人物です。そこで今回は、当館所蔵の梅田家文書に残る渋沢栄一の書簡を紹介します。

また、渋沢栄一が師事した千葉県ゆかりの人物、儒学者・海保漁村^{かいほぎよそん}に注目します。今回、海保塾の場所が特定できましたので、江戸切絵図をもとに解説します。



外神田下谷辺絵図(東京都立中央図書館特別文庫室所蔵)



海保漁村自画像
(安政5年・61歳、当館所蔵)



渋沢栄一肖像(明治16年・43歳、渋沢史料館所蔵)
※今回の展示史料(書簡)が出された頃の渋沢です。



※モ/レール県庁前駅から徒歩3分、JR本千葉駅・京成千葉中央駅から徒歩10分

千葉県文書館

千葉市中央区中央4-15-7

TEL 043-227-7551